

独ソ戦・世界大戦とドイツ・西欧ユダヤ人の東方追放 ——「ユダヤ人問題最終解決」累進的急進化の力学——

永 岑 三千輝

はじめに

1. 1941年秋の過渡的移送措置再開と諸困難——「冬の危機」へ
2. ドイツ・ユダヤ人「東方」移送の諸局面——1941年10月～42年2月
3. 独ソ戦から世界大戦への展開とヴァンゼー会議
4. ドイツ・西欧から総督府への強制追放——1942年
5. 1942年夏のユダヤ人殺戮急進化

むすびにかえて

文献リスト

地図（ドイツとプロテクトラート1941-1945、絶滅収容所）

はじめに

これまでの研究で単にソ連ユダヤ人の殺戮作戦だけではなくて、ヨーロッパ・ユダヤ人絶滅政策への大々の転換の画期は、1941年12月とする筆者の1994年以来の見地が再確認されたものとして、最新史料集に依拠して今日の歴史学の到達点を見てきた。それは独ソ戦の泥沼化、第三帝国最初の「冬の危機」と占領地域の人的物的資源の窮迫、第三帝国敗北への戦局転換、その危機状況における対米宣戦布告、世界戦争への突入に呼応する転換であった（永岑 1994, 185-261; 2001, 127-300; 2022a, 219-251; カーショー 2016b, 489-